



道民カレッジロゴマーク
愛称「マナボー」

college news

カレッジだより

～学びから 夢が生まれる道民カレッジ～

2013 Sep.

vol. 24

町民の学ぶ意欲に支えられて17年

北海道浦河高等学校長 小島 晶夫



北海道浦河高等学校の学校開放講座は、今年で18年目を迎えます。講座が始まったのは平成8年で、地域社会と学校の連携・協力を深め、「開かれた学校」づくりを一層推進することを目的に開催されました。以来、「生涯学習の機会を広く町民に提供する」場として、また、お世話になっている町民の方々に浦河高校が「恩返しする」場として、そして平成13年からは道民カレッジの連携講座として毎年開催されてきました。

講座内容は、先生方が得意とする教科の専門領域の他、趣味や特技をいかした講座など多岐にわたっています。今年度も多種多様な12講座が開催されます。文化系講座の「メサイアをうたおう」では、講座での学習成果を10月に浦河で開催される「町民芸術祭」で発表します。体育系講座の「初心者のためのランニング教室」では、陸上部顧問の先生が、安全かつ効率のよいランニング方法や練習方法を紹介します。座学系講座の『利休にたずねよ』で歴史散歩では、日本史が専門の教頭が、12月に公開される映画『利休にたずねよ』の映画監督が浦河高校出身であることにちなんで、戦国時代の歴史や人物像について講談します。体験活動系講座で、地歴公民科と理科の教員が連携して行う「ドキドキ土器づくり」では、縄文土器の制作を通じて、受講者にモノをつくる大変さとモノの有り難さを体感していただく予定です。

町民からも、講座に対して多くの期待の声が寄せられています。昨年の講座終了時点でのアンケートでは、「学びの原点。知的好奇心をくすぐるものがここにある。」「とてもユニークで実用的な講座。浦河町民はこうした講座を受けられるので、他町村の友人は羨ましがっていた。」「今年で5年目。これからもじっくりと習ってみたいと思う。」などのご意見・ご感想をいただいております。このような町民の止まぬ向学心と期待、そして熱心な支えがあってこそ、ここまで長く講座を続けてこられたのだと感じています。

また、講座継続に当たっては、教育委員会の強力なバックアップも大きな推進力となっています。講座運営に関し、ハード・ソフトの両面で相談にのっていただき、たくさんの情報やアイデアを提供していただいております。長きにわたり、息の長い、飽きない、充実した講座を続けてこられたのも、社会教育との連携があってこそ、と考えています。

このように、地域の支援と町民の支持を受けて継続してきた学校開放講座ですが、受講年齢も小学生から80代の方までと幅があり、貴重な世代を超えた交流の場となっています。80代の方が意欲的に学ぶ姿は、若者の手本となり、講師にとってもよき刺激となっています。また、詩吟や探鳥クラブなど、学校開放講座を母体として誕生したサークルが、地域に根ざした活動を行っていることも嬉しい限りです。微力ではありますが、これからも浦河町の生涯学習の一翼を担うべく、魅力ある学校開放講座を継続していきたいと思っております。



やってみよう！化学実験



はじめての野鳥観察



A L Tと話そう

※平成24年度開放講座より

「ほっかいどう学」大学放送講座一覧

道内の大学と放送会社の協力を得ながら、ほっかいどう学に関する専門的な講座の学習コンテンツを制作し、テレビ放送を活用して学習します。

平成25年度「ほっかいどう学」大学放送講座

回	大 学	講 師	タ イ ト ル	放送 午前 5:00～5:30	再放送 午前 2:59～3:29
1	北海道薬科大学	薬学部 教授 古田 精一	超高齢化時代の医療と介護 ～自宅・地域で生活できるように～	10/5 (土)	10/8 (火)
2	札幌大学	地域共創学群人間社会学域 准教授 武者 加苗	北海道外へ発信 ～医療観光・六次産業の挑戦～	10/12 (土)	10/15 (火)
3	北海学園大学	人文学部 教授 大石 和久	スクリーンの中の北海道 ～映画が描いた北の大地～	10/19 (土)	10/22 (火)
4	北海道医療大学	歯学部 教授 安彦 善裕	増えるドライマウス患者 ～道産農産物を使った製品開発～	10/26 (土)	10/29 (火)
5	北海道情報大学	経営情報学部 教授 古川 正志	6人で世界と繋がるどうみん ～複雑ネットワーク～	11/2 (土)	11/5 (火)
6	北海道教育大学	教育学部札幌校 准教授 百瀬 響	意外と知らない？アイヌ文化 ～文化形成に至るまでの理論～	11/9 (土)	11/12 (火)
7	北海道大学	高等教育推進機構 准教授 三上 直之	ミニ・パブリックスって何だ？ ～私の議論が政治を変える～	11/16 (土)	11/19 (火)



今年の
テキスト
です

○HBC（北海道放送）にて放送いたします。

○1 講座につき1 レポート提出で、称号取得に必要な【必修1 単位】が取得できます。

○大学放送講座テキストは事務局にて販売中（1冊1000円）。郵送でテキスト購入を希望される方は、リーフレット掲載の振込用紙に必要事項を記入の上、郵便局からご送金下さい。

○インターネットで大学放送講座を視聴される場合は、「ほっかいどう学BB」で検索して下さい。

道民カレッジで学んだ成果を地域で生かしませんか？

道民カレッジの講座で学ぶ人は年々増加しており、平成24年度は年間で77,666名の道民が学び、開講以来の称号取得者は306名となっています。

道民カレッジ事務局では、学習者が学んだ成果を生かして様々な活動ができるように、「学習成果実践事業」や称号取得者を対象とした「称号取得者セミナー」を実施しています。これらの取組によって、学んだことを生かして新たに講座を企画したり、学習を通じてできた仲間とともにサークルを立ち上げたり、積極的に地域で活躍する人が増えています。

みなさんも、学んだ成果を生かして地域で活動してみませんか。



学んだことを食育に生かしてみませんか。

健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけることはとても大切なことです。道内各地では、公民館等で食に関する様々な講座が実施されているほか、道民カレッジの連携講座にも地場産物を用いた料理教室や加工食品の開発など、食に関する学習機会は多くあります。ここで学んだ道民カレッジの学生などが、その成果や経験などを生かした取組を全道各地で行っています。

● 学んだ成果を「食育」の分野で生かしている例

例えば、沼田町の学校支援地域本部事業では、地域のボランティアが中学校家庭科の授業で学習の支援を行っています。特に料理実習では、子どもたちが、ボランティアによる丁寧な指導を受けて、思い思いの材料で得意な料理を作りました。松前町の学校支援地域本部事業では、調理実習の時間に学校支援ボランティアが学習の支援を行っています。また、放課後子ども教室において、活動の中で食に関する様々な活動が行われています。

道民カレッジ連携講座（前期）の状況と募集について

平成25年度前期連携講座状況 (H25.8.31現在)

◇コース別参加団体・講座数

※団体数は延数とする

区 分 コース名	市町村		高等教育機関等		専修学校および 各種学校		各種団体		関係機関		合 計	
	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数
ほっかいどう学	38	104	20	36	0	0	26	67	14	43	98	250
能力開発	8	9	32	110	13	18	24	38	6	11	83	186
環境生活	29	79	34	98	2	2	36	103	8	17	109	299
健康・スポーツ	26	147	33	65	4	14	58	129	2	3	123	358
教養	44	91	79	383	11	21	61	283	10	25	205	803
合計	145	430	198	692	30	55	205	620	40	99	618	1,896

◇学習内容のコース分類

コース名	内 容	講座（事業）例
ほっかいどう学コース	北海道の歴史や民族、地域学など、北海道民としての課題をテーマにした講座	町の歴史講座、地域学講座等
能力開発コース	地域社会を担う人々の知識や技能・資格など、専門性を高める講座（パソコンや語学関係の講座は全て含む）	介護教室、パソコン講座、外国語講座等
環境生活コース	社会生活を営む上での様々な課題をテーマにした講座	子育て講演会、家庭教育、エコロジー、自然観察会等
健康・スポーツコース	健康づくりや体力づくりなど、健康・スポーツに関する幅広い分野をテーマにした講座	各種スポーツ教室、健康づくり講演会等
教養コース	豊かな人生をおくるための基礎的な分野をテーマにした講座	各種教養・文化教室、文化講演会等

道民カレッジの連携講座を募集しています

道民カレッジでは道民の多様化、高度化する学習ニーズに対応することにより、道民が自らの意志によって学べるよう道内各市町村等で行われる様々な学習機会を連携講座として募集しております。

《対象となる講座》

- ◎実施期間 前期分は4月～9月、後期分は10月～翌年の3月末
- ◎実施要件 以下のいずれかの要件を満たすもの
 1. 北海道及び道内の市町村（施設等の指定管理者を含む）が実施するものであること。
 2. 学校の開放講座及び高等教育機関等が実施する公開講座等であること。
 3. 道民が学習成果を活用して実施する自主企画講座であること。
 4. その他、道民の生涯学習活動の推進に資すると認められるものであること。

《募集時期》

- ◎1月中旬～2月中旬：〈前期分〉4月～9月の講座
- ◎7月上旬～8月上旬：〈後期分〉10月～翌年3月の講座
- *年間をとらして募集を行います。締切期日を過ぎて提出された申込みについてはガイドブックに掲載できないため、後日ホームページで紹介します。

《連携の手続き》

- ◎「道民カレッジ連携講座開設申込書」（道民カレッジホームページ上に様式があります）に必要事項を記入の上、郵送またはFAX・Eメールにより道民カレッジ事務局へお申し込み下さい。なお、講座の開催要項等がある場合は添付してください。
- ◎また、すでにユーザーID・パスワードを発行されている機関・団体等は、インターネットによる講座情報入力によりお申し込み下さい。
- ◎コースの分類については、上記を参照ください。
- ◎お申し込み後、審査の上、通知します。

《その他》

- ◎連携講座の主催者は、連携に指定された講座について道民カレッジの連携講座であることを表示してください。
- ◎この募集要領及び連携講座申込書は、下記のホームページにも掲載してあります。

【お問い合わせ先】

事務局：道民カレッジ事務局（（公財）北海道生涯学習協会）〒060-0002札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7
 TEL 011-231-4111（内線36-343）・011-204-5780
 FAX 011-281-6664
 Eメール college@manabi.pref.hokkaido.jp
 道民カレッジホームページ <http://manabi.pref.hokkaido.jp/hsgk/college/>
 主 催：北海道教育委員会

平成25年度上半期はこんな様子でした

● 写真で見るカレッジ事業 ●

連携講座（一部）

～かでの講座～



朝の情報番組でおなじみの与良正男氏（毎日新聞論説委員）の講演も！

今年は受講料が700円に値下げになって大好評！次回のかでの講座講師には夕張市長の鈴木直道氏をお迎えします。

～生きがいづくり生涯学習促進事業～



富山から「せり込み蝶六」保存会理事の先名氏をお迎えし、みんなで踊りました。（東川町）

地域活動推進講座（十勝圏域）



鹿追町
ピュアモルト
クラブハウスにて



十勝圏域の鹿追町、上士幌町、新得町の3町合同で本講座を推進しながら、まちづくりを担う人材の育成を目的に実施しています。

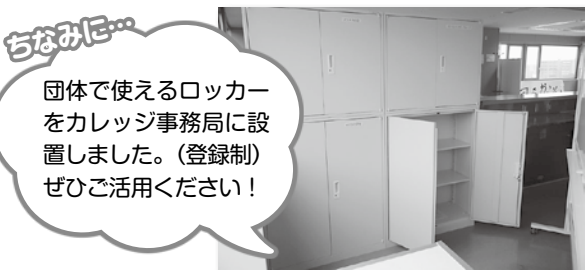
1回目は、鹿追町ピュアモルトクラブハウスを会場に、地元教育委員会の小林 潤教育長より「これからの青年活動に期待するもの」と題して“今をいかに生きるか”を中心に、高杉晋作の生き方、わたぼうしコンサート、難病を抱えた親の活動など、夢は持てる・手足は不自由でも一生懸命に生きることができることを強く問いかけていました。また、現在8団体270名のピュアモルトクラブの三田村 和弘会長より、運営委員会を組織し3部会で横の連携を深めた実践の発表後、参加者同士の意見交換を行い、交流を深めました。青年が自分達でルールを作り、自由に使えるピュアモルトクラブハウスで、積極的な活動が進められている様子が伝わってきました。次回は上士幌町での開催です。

自主学习グループの学習風景



～プラチナの会～

最近ではパソコンを使って暑中見舞いや名刺づくりに挑戦しました！



ちなみに…

団体に使えるロッカーをカレッジ事務局に設置しました。（登録制）ぜひご活用ください！

～ほっかいどう学（歴史・文化）を学ぶ会～



7月には胆振・後志方面の歴史探訪バスツアーを企画し、行ってきました。

学習活動にお役立てください

❖ 付属視聴覚センターより ❖

視聴覚センターでは、学習に役立つ一般視聴覚教材を無料で貸出しています。

（貸出は機関、民間事業所、サークルなど「団体」に限ります。個人でご利用の方は、まなびの広場レファレンスコーナーでご覧ください）

詳しくは、北海道立生涯学習推進センター付属視聴覚センターのホームページをご覧ください。

★ まなびの広場職員のおすすめ教材 ★

手話を学んで、あいさつや自分の名前などを表現してみませんか？

教材タイトル：「手にことばを 講座Ⅰ～Ⅲ」
「手にうたを①～③」

★ 最近の好評貸出教材 ★

「にんじん」、「アルジャーノンに花束を」、「冰雪の門」、「こねこ」、「ミッキーマウス3」

みなさんの学習風景も
ぜひ教えてください!!

お便り、写真、お待ちしております！

（詳しくは編集後記へ）



最近の

道民カレッジ事務局



インターネットを利用したさまざまな取り組みを始めています

Twitter はじめました

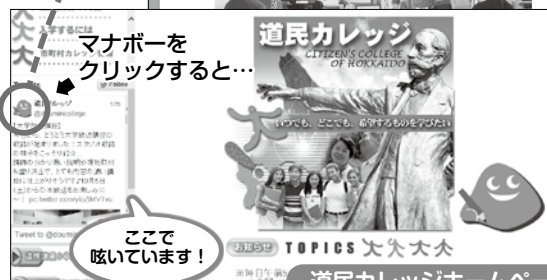


Twitter (ツイッター) とは、インターネット上で140文字以内の「ツイート」と呼ばれる短文を投稿できる情報サービスのことです。

道民カレッジ事務局では9月より、「道民カレッジTwitter」の運用を開始し、連携講座情報や事務局のこぼれ話(?) などなど、道民カレッジに関わる情報を、写真を交え楽しく・分かりやすく・リアルタイムに発信しています。

ぜひご覧になってくださいね～!

大きく見ることができます!



ID: @doumincollege

講演会場と遠隔地を結ぶ通信機を導入!

「聴きたい講演が都市部に集中していて聴けない…」

「地方の連携講座は少なくカレッジ単位がなかなかとれない!」



カレッジ生のみなさんから多く寄せられていたこんなご意見を真摯に受け止め、事務局ではインターネットを利用した遠隔通信機を導入しました。本格的に運用できるよう、試運転を始めています。

事務局職員もまだ不慣れです…。札幌会場と、離れた会場をつなぐ試運転を、これからの事業の中で行っていく予定です。

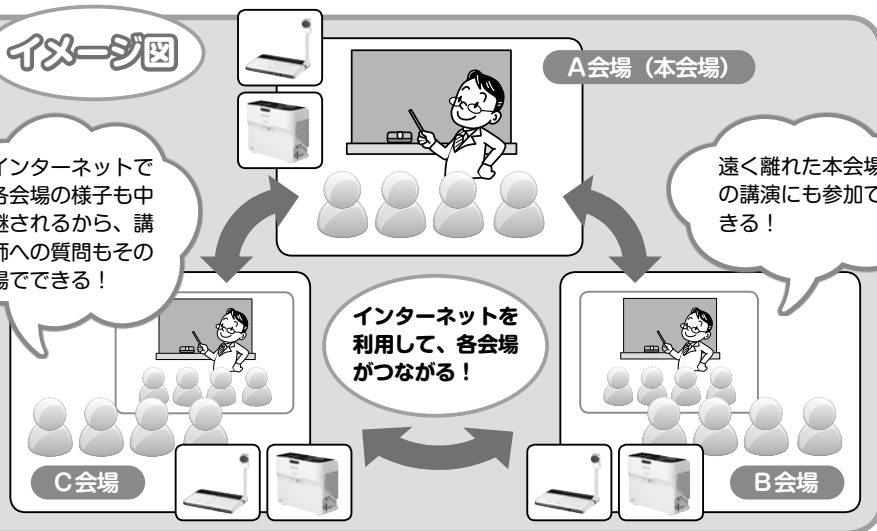


イメージ図

インターネットで各会場の様子も中継されるから、講師への質問もその場でできる!

インターネットを利用して、各会場がつながる!

遠く離れた本会場の講演にも参加できる!



遠隔通信機を利用した事業へ参加を希望される市町村・施設・団体を募集しています!

詳しい説明やネットワーク環境のチェックをさせていただきますので、まずはお気軽に道民カレッジ事務局までお問い合わせください。

新規 道民カレッジ称号取得者一覧

(平成25年3月1日～平成25年8月31日)
(敬称略 本人から承諾を得ている方を掲載しています。)

● 学長奨励賞 (3000 単位取得) ●

斎藤 和男 (札幌市) 飛谷 昭一 (旭川市)

● 学長奨励賞 (2000 単位取得) ●

五郎部 勇 (札幌市) 落合 俊忠 (札幌市)

● 学長奨励賞 (1000 単位取得) ●

西川 暢一 (旭川市) 松井 英成 (帯広市) 松井 絹子 (帯広市)
中島 洋一 (札幌市) 加藤 京子 (北見市) 平川 省三 (滝川市)

● 博 士 (300 単位取得) ●

松井 英成 (帯広市・環) 松井 絹子 (帯広市・環) 町中 豊 (札幌市・ほ)
中塚 豊 (札幌市・教 / 環) 阿部 英子 (札幌市・教) 加藤 京子 (北見市・環 / ほ)
山崎 澄子 (室蘭市・ほ) 野口 鉄男 (函館市・教) 酒井 清美 (湧別町・能)
山石 純男 (札幌市・教) 夏伐 数夫 (北見市・教) 牧田 武治 (札幌市・環 / 教)
坂本 春恵 (音更町・教)

● 修 士 (200 単位取得) ●

坂本 春恵 (音更町・教) 松田 幸雄 (帯広市・健) 松井 英成 (帯広市・環)
松井 絹子 (帯広市・環) 橋本あつこ (札幌市・教) 鈴木 勤 (函館市・教)
酒井 清美 (湧別町・能) 中塚 豊 (札幌市・教 / 環) 加藤 幸子 (遠軽町・能)
加藤 京子 (北見市・ほ) 鈴木 努 (上富良野町・能 / 教) 山石 純男 (札幌市・教)
堀北 真吾 (札幌市・ほ) 三浦アイ子 (札幌市・教) 荒 博 (札幌市・環)
太田 順治 (札幌市・ほ)

● 学 士 (100 単位取得) ●

田野 善孝 (苫小牧市・ほ) 加藤 樹里 (北見市・健) 林 君雄 (札幌市・ほ)
松田 幸雄 (帯広市・健) 大場 弘一 (稚内市・ほ) 矢嶋 裕之 (札幌市・ほ)
鈴木 勝義 (芽室町・ほ) 松井 英成 (帯広市・環) 松井 絹子 (帯広市・環)
福田 寿子 (美幌町・教) 五郎部 勇 (札幌市・能) 中塚 豊 (札幌市・教 / 環)
友安 春雄 (帯広市 / 健) 太田 節子 (札幌市・教) 藤内 英夫 (札幌市・教)
鈴木 正義 (旭川市・教) 秋元 博子 (札幌市・環) 猿田 勤 (釧路市・教)
武佐 博 (江別市・ほ) 田仲 可昌 (森町・ほ) 北川夕起子 (札幌市・ほ)
北川 孝志 (札幌市・ほ) 紅本 徹 (札幌市・ほ) 石原富士雄 (函館市・教)
林 葵 (帯広市・教 / 健) 三浦 信江 (札幌市・ほ) 阪 正二 (札幌市・ほ)
丸尾 清一 (札幌市・ほ)

※称号取得の方法や手続きに関するお問合せは、下記の道民カレッジ事務局まで、ご連絡ください。
なお、道民カレッジのホームページでは、称号取得のモデルプランを見ることができます。
(注) ほ：ほっかいどう学 能：能力開発 環：環境生活 健：健康・スポーツ 教：教養

称号取得者等

学 士	修 士	博 士	学長奨励賞					
			1000単位	2000単位	3000単位	4000単位	5000単位	6000単位
609人	414人	333人	72人	14人	7人	2人	2人	1人

カレッジだより Vol.24

平成25年9月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局[(公財)北海道生涯学習協会]

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル9階

TEL (011) 204-5780 FAX (011) 281-6664

URL <http://manabi.pref.hokkaido.jp/hsgk/college/>

Eメール college@manabi.pref.hokkaido.jp

● 道民カレッジ事務局から

1. 道民カレッジ生で住所変更等があった時は、ご面倒でも事務局までお知らせください。
2. カレッジだよりでは、道民カレッジ生のみなさんからの便りを募集しています。「私がしている生涯学習」や「道民カレッジでこんな体験をした!」など、なんでも結構です。お気軽に事務局までお送りください。(お送りいただいた原稿は返却いたしません。ご了承ください。紙面でご紹介させていただく場合がございます。)